

令和6年度 瑞穂市立穂積小学校 研究構想

【瑞穂市教育大綱】

みずほを愛し みずほに誇りをもち みずほを担う人づくり かしくくて あたたかくて たくましい子

【学校の教育目標】

かしくくて あたたかくて たくましい子

かしくい子：自ら問題を発見し、学ぶ意欲をもちながら、考え行動する子（自立力）

あたたかい子：仲間との対話や活動を通して、仲間とのかわり、認め合い、支え合う子（共生力）

たくましい子：健康な心と身体を育み、安全な生活を推進するとともに、よりよい生活を創り出す子（創造力）

【児童の実態】

- 「聞く」「話す」の基本的な学習習慣が身に付いている児童が多く、落ち着いて学習に取り組むことができる
- 仲間との対話的な学習にも意欲的に取り組み、自分の考えを広めることができる。
- 自分の考えを根拠を基に、仲間に分かりやすく豊かに表現していく姿勢が育ちつつある。
- 既習事項や仲間からの意見を基に、自分の考えを振り返り、再構築していく力が弱い。

【研究主題】

主体的、対話的な学びを通して、自らの学びを実現する子

～「分かった」「できた」「参加できた」を実感する授業を通して～

学びを通して、以下の力をつける

【めざす児童の姿】

- 課題発見力**：自ら問いを発見し、見通しをもって調べたり、考えたりしながら解決できる子
- 論理的思考力**：学習課題に対し、解決の見通しをもち、各教科の見方や考え方を働かせたり、得た情報を分析したりしながら考えることができる子
- 表現力**：仲間との対話の中で、自分の考えを自分の言葉で伝えたり、根拠を明確にしたりしながら、豊かに表現できる子
- 実践力**：自分の学習を振り返り、自分の考えを広めたり、深めたりするなどして、学びを自覚し、次の学習への意欲をもつことができる子

【研究仮説】

児童一人一人が学習に対して、意欲的かつ見通しをもって、各教科の見方・考え方を働かせながら追究することができるような単元指導計画を作成し、学習課題に対して、自分の考えをもち、深められるように対話的な学習を位置付けたり、発問等の工夫をしたりした学習活動を設定し、学びを自覚できるように教師が適切な指導・援助を行えば、「分かった」「できた」「参加できた」を実感し、自らの学びを実現する子が育つ。

研究内容 1

学習の見通しがもてる単元指導計画の在り方

- ・児童が見通しをもって意欲的に追究することができるような単元指導計画の工夫
- ・各教科の見方・考え方を明らかにし、働かせる場面を位置付けた単元指導計画の作成

研究内容 2

考えをもち、深められるような学習活動の在り方

- ・児童が「分かった」「できた」「参加できた」と実感できるような学習活動の位置付け
(対話的な学習 ICT 機器の活用 シンキングツールの活用 発問の工夫等)
- ・一人一人の学力や特性に合わせた学習活動位置付け
(評価問題、発展問題、問題作成等)

研究内容 3

学びを自覚するための指導・援助の在り方

- ・児童が学びを自覚できるような場の設定と実態に合わせた指導援助
(アウトプットする学習活動の設定
キーワードを使ったまとめの作成
ICT 機器の活用)